



上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所
上十三地区家畜衛生推進協議会
(一社) 青森県畜産協会

0176-23-6235 (FAX 0176-23-3044)
0176-25-2362 (FAX 0176-24-3888)
017-722-4331 (FAX 017-731-1196)

夏季休暇期間中は防疫対策に 一層気をつけましょう！

夏季休暇の時期を迎えるに当たり、諸外国との人や物の動きが激しくなります。日本を訪れる外国人の数は年々増加しており、**口蹄疫等の侵入リスクは高くなっています**。下記の防疫対策を実施して伝染病の発生を未然に防ぎましょう。

✓ 侵入防止対策

▼ 渡航に当たっての留意事項

- **口蹄疫等の発生地域には渡航を自粛する。**
→ 中国・韓国・モンゴル・ロシア等
- 畜産関連施設に立ち入らず肉製品等を持ち帰らない。
- 動物との不用意な接触を避ける。
- 帰国の際には空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り家畜防疫官の指導を受ける。



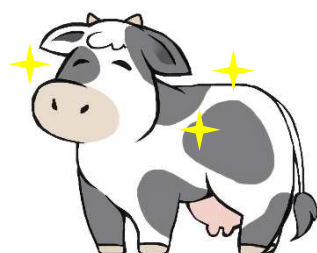
▼ 帰国後の留意事項



- **帰国後一週間は農場内に入らない。**
- やむを得ず立ち入る場合には洗髪、入浴、更衣等の処置を実施し、病原体の侵入リスクを下げる。
- 海外で使用した**衣服及び靴**は農場内に**持ち込まない**。

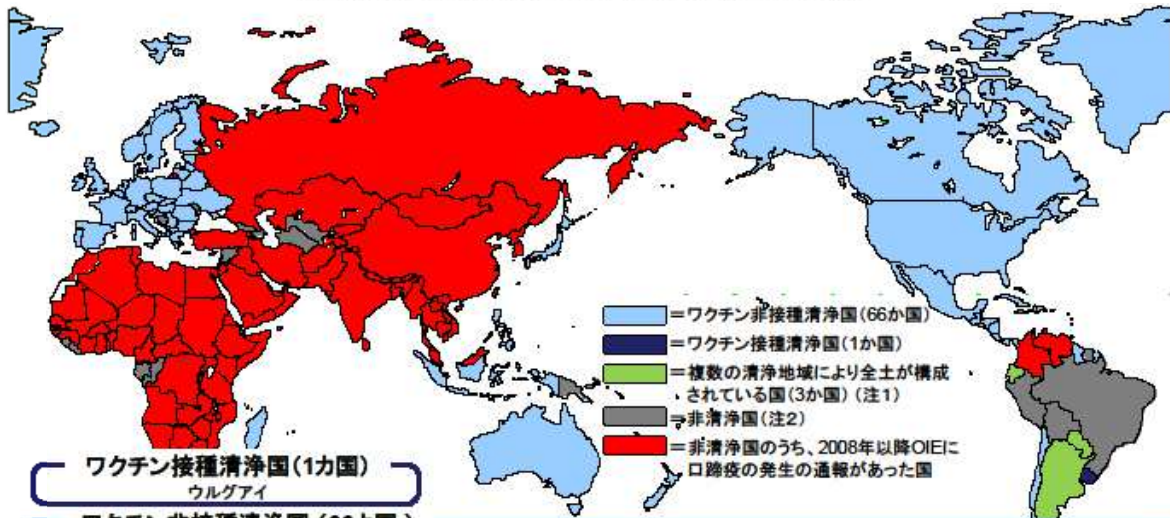
▼ 病原体の持ち込み防止

- 衛生管理区域に必要な無い人を立ち入らせず、
不要な物を持ち込まない。
- 人が立入る場合や物を持ち込む場合は、
洗浄及び消毒を徹底する。



✓ □蹄疫発生状況（2017.7.20 現在）

世界における口蹄疫の発生状況



ワクチン接種清浄国(1か国)
ウルグアイ

ワクチン非接種清浄国(66か国)

～ヨーロッパ(39か国)～

アルバニア
オーストラリア
ベラルーシ
ベルギー
クロアチア
キプロス
英国
サンマリノ共和国

チェコ
デンマーク
エストニア
フィンランド
マケドニア
フランス
ドイツ
ギリシャ

ハンガリー
アイスランド
アイルランド
イタリア
ラトビア
リトアニア
ルクセンブルク
マルタ

オランダ
ノルウェー
ポーランド
ポルトガル
ルーマニア
スロバキア
スロベニア
スペイン

スウェーデン
セルビア
モンテネグロ
ボスニア・ヘルツェゴビナ
スイス
ウクライナ
ブルガリア

～アジア(5か国)～
日本
インドネシア
シンガポール
ブルネイ
フィリピン

～オセアニア(4か国)～
オーストラリア
ニューカレドニア
ニュージーランド
バヌアツ

～アフリカ(3か国)～
スワジランド
マダガスカル
レソト王国

～南北アメリカ(15か国)～
カナダ
チリ
コスタリカ
キューバ
エルサルバドル
グアテマラ
ガイアナ
ホンジュラス

ニカラグア
パナマ
米国
ベリーズ
ドミニカ共和国
ハイチ
メキシコ

注1 国の全土が、ワクチン接種清浄地域又はワクチン非接種清浄地域により構成されている。①アルゼンチン:2つのワクチン非接種清浄地域と1つのワクチン接種清浄地域。
②パラグアイ:2つのワクチン接種清浄地域。③エクアドル:1つのワクチン非接種清浄地域と1つのワクチン接種清浄地域。
注2 非清浄国には、その一部にOIEが公式認定するワクチン非接種清浄地域/ワクチン接種清浄地域を含んでいる国を含む。
注3 更新点:ヨルダンにおける口蹄疫の発生

※ 出典:OIE
(清浄国・地域はOIE公式認定)

✓ □蹄疫の症状

口蹄疫は牛や豚等の偶蹄類で発症します。発熱や元気がなくなる、泡状のよだれを流す、□・蹄・乳房に水ぶくれが出来るのが特徴です。

牛の場合、泡状のよだれを流す個体が多くなる、症状が急速に広がる等、群としての異状を察知することが重要です。

▼牛の症状



▼豚の症状



疑わしき症状を見つけたら、直ちに家畜保健衛生所まで通報を！

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページアドレス: <http://www.applenet.jp/~towada-kaho/>